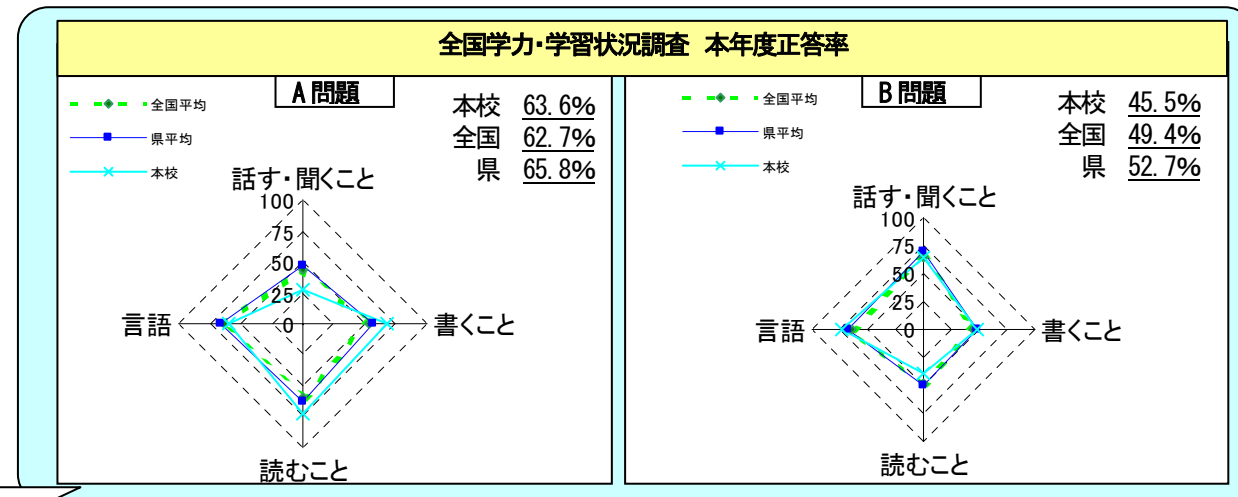
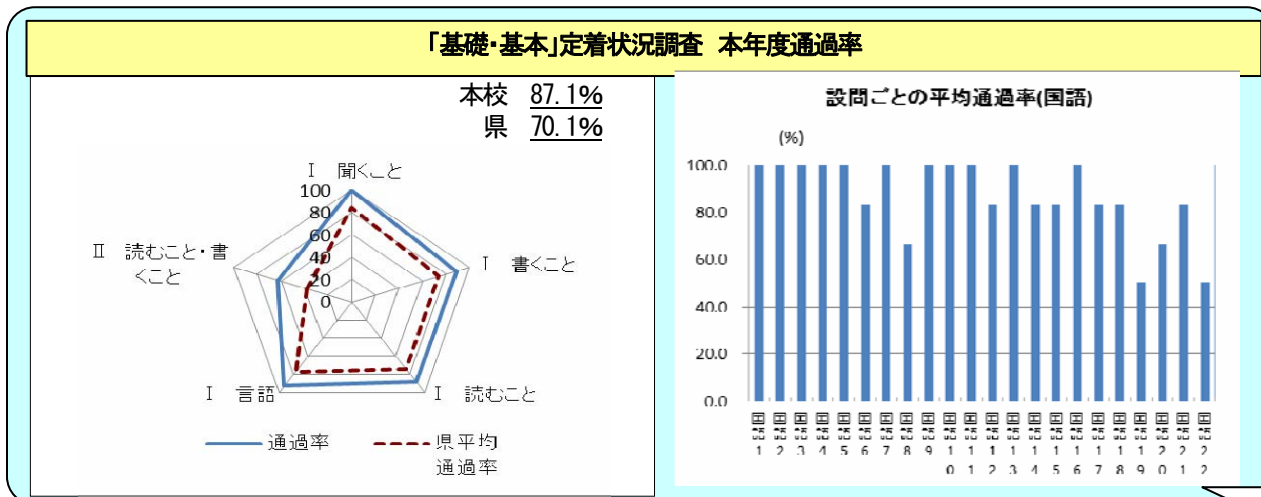


指導方法等の改善計画について〔国語〕

三原市立船木小学校



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎タイプIIの書くことの問題で、選択した項目と選んだ理由、具体的に取り組むことを三段落構成で書こうとしているが、具体例を挙げて自分の意見を書くことができていない。(通過率50%)

◇文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って1文を2文に分けて書くことができていない。問題の内容とは無関係な文を取り上げて書いたり、主語を抜かして書いたりしている。(通過率27.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

◎書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて事例を挙げて書く力をつけるために、授業の中で、自分の意見や考えを書く場を意図的に設定する。その際、自分の経験・生活をふり返って、具体的な事例を挙げながら意見を書かせるように指導していく。

◇文の定義をおさえ、授業や日記指導・作文指導の中で、表現する際に次の点に気を付けて話したり書いたりさせる。

- ・主語をつけて話したり、書いたりさせる。
- ・一文を長くしすぎないように、短い文を接続語でつないで表現させる。

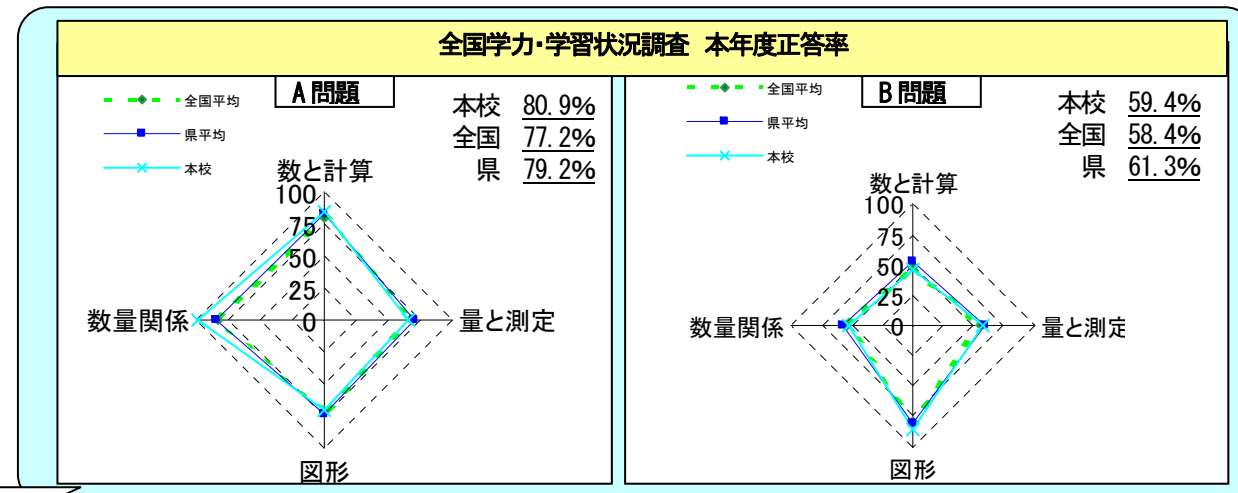
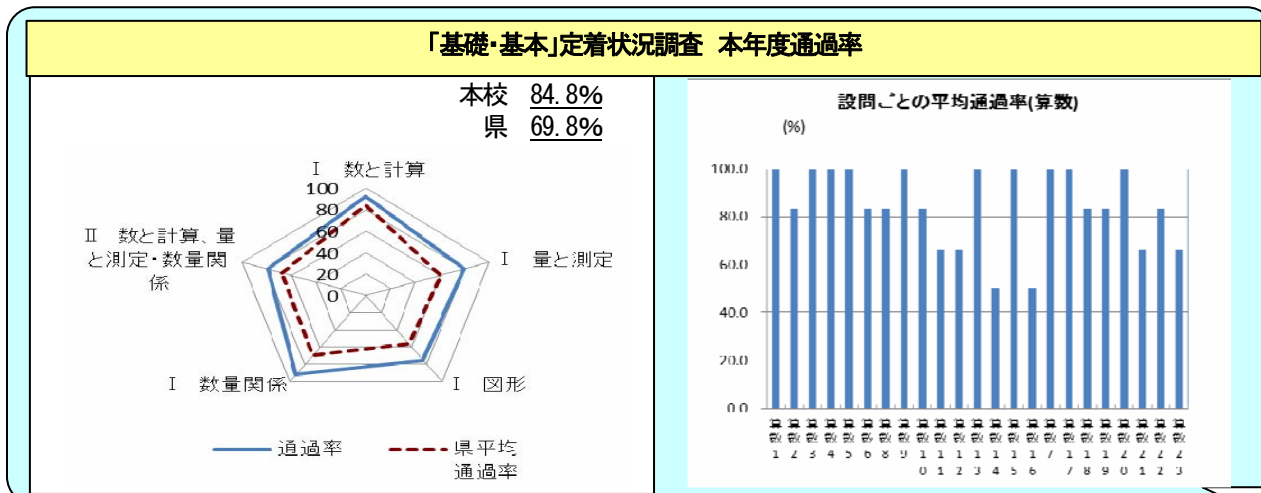
※学びタイムでフォローアップ問題に取り組み、放課後の個別指導によって理解の不十分なところの定着を図る。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 各学年の学習内容・基礎基本定着のためのドリル学習(学びタイム⇒個別指導), 国語辞典を活用した学習						
目標値	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト 平均通過率 80%			全学年 期末テスト 75点以上が70%以上	全学年 標準学力調査の実施・分析 全国平均以上が70%以上	4年生 H25 「基礎・基本」 平均通過率 70%	全学年 期末テスト 75点以上が70%以上
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 各学年の学習内容・基礎基本定着のためのドリル学習(学びタイム⇒個別指導), 国語辞典を活用した学習						
目標値	6年生 「全国学力」 診断的小テスト 平均通過率 80%			全学年 期末テスト 75点以上が70%以上	全学年 標準学力調査の実施・分析 全国平均以上が70%以上	5年生 H25 「全国学力」 平均通過率 70%	全学年 期末テスト 75点以上が70%以上
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔算数〕

三原市立船木小学校



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎タイプ I の図形の問題で正方形になる理由を説明することができていない。正方形の条件として、「4つの辺の長さが等しい」、「4つの角の大きさが等しい」のいずれかは書けているが、2つの条件がそろっていない。(通過率50%)

◇単位量当たりの問題で、AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味を正しく理解できていない。(通過率27.3%) また、ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の何倍になるかを求める方法を式や言葉を使って書くことができていない。(通過率36.4%) 1試合当たりの観客数を求める式が正しく書けていない児童が36.4%、正しい式を書いているも言葉とつなげて説明ができていない児童が42.9%いる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

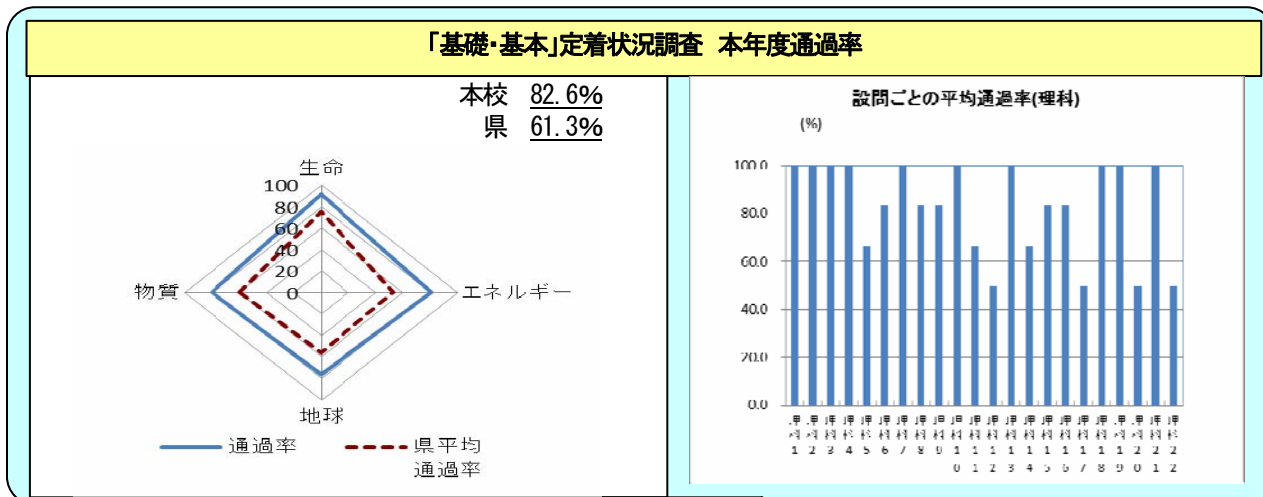
◎図形の学習をする際に、算数的活動、操作によって三角形や四角形などの構成要素や特性を体感させる。その体験をもとに、図形の定義(辺の長さや角の大きさなどの関係)をまとめていく活動を行い、定義を身に付けさせる。

◇単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解させるために、1㎡の範囲内の人数を変えたり、1人当たりの面積を変えたりして混み具合を体感させる。そして1㎡当たりの人数を求める式と1人当たりの面積を求める式の意味のちがいを捉えさせ、2つの式では混み具合を判断する答えの大小が逆になることを児童のことでまとめさせながら理解を深める。また、日頃から、授業の中で自分の考えを書く場、説明し合う場を設定し、式や数、言葉を使って説明する力を育てる。

※学びタイムでフォローアップ問題に取り組み、放課後の個別指導によって理解の不十分などころの定着を図る。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 各学年の学習内容・基礎基本定着のためのドリル学習(学びタイム⇒個別指導)						
	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生 H25 「基礎・基本」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が70%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が70%以上
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 各学年の学習内容・基礎基本定着のためのドリル学習(学びタイム⇒個別指導)						
	6年生 「全国学力」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	5年生 H25 「全国学力」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が70%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が70%以上
実施後数値							



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①タイプⅡ，エネルギー領域の問題で，回路における乾電池の直列つなぎと並列つなぎの違いを車の走る速さと関係付けて考えることができていない。「2つの電池を直列つなぎにすると，電流が強くなり車の速さも速くなる」ということが正しくとらえられていない。（通過率50%）

◎②タイプⅡ，地球の領域の問題で，結露についての知識を，冷えた缶ジュースを常温の空气中に置くとその表面に水滴が付く現象に適用することができていない。「空気中の水蒸気があたためられて元の水滴にもどった。」、「缶の中の冷たいものと外の温かい空気があたって缶がぬれる。」「周りの温度が温かいから蒸発して水滴になった。」など，結露のとらえが不十分である。（通過率50%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

◎①「電気のはたらき」の単元で乾電池の直列つなぎと並列つなぎを学習する際に，2つのつなぎ方ではモーターの動きや車の速さにどんな違いがあるのか，実験やおもちゃ作りを通して感じとらせる。そして，実験の考察や学習のまとめをキーワードを使って表現させる。

◎②「水のすがた」「水のゆくえ」の単元で，水は温度によって氷・水・水蒸気と状態を変えることを学習する際に，実験や観察を通して気づいたことをキーワードを使ってまとめさせ，正しく理解させていく。

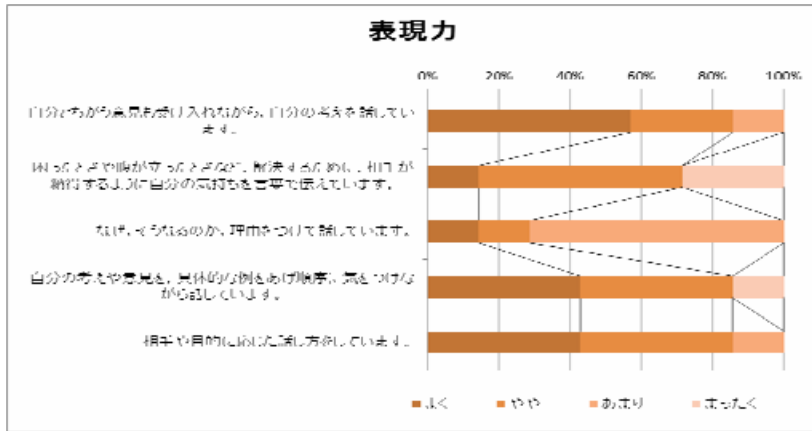
※どの学年においても，知識として教えたり覚えたりするのではなく，実験・観察や調べ学習などを通して気づいたことやわかったことをキーワードを使ってまとめていく授業を日常的に行っていく。

※学びタイムでフォローアップ問題に取り組む。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年 各学年の学習内容・基礎基本定着のためのドリル学習（学びタイム⇒個別指導）						
目標値							
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生 H25「基礎・基本」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が70%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が70%以上
実施後数値							

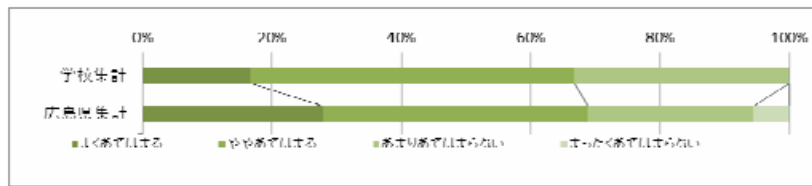
(1) 生活・学習



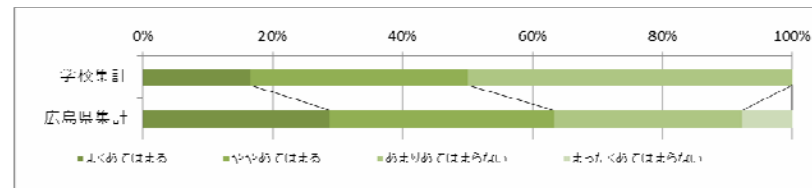
	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。(33.3%)	・理由付けをして話す習慣づけ (授業および生活場面)	5	67%以上	児童アンケート調査	12月		
全国	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う。(45.5%)	・考えをもつ(書く)時間の確保 ・型の指導	6	73%以上	児童アンケート調査	12月		

(2) 教科

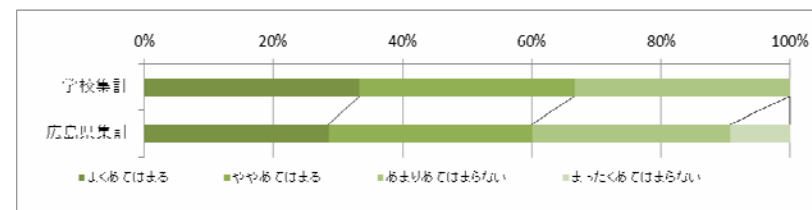
国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	国語の授業では、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている。(66.7%)	5	83%以上	児童アンケート調査	12月		
	全国	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。(72.8%)	6	82%以上	児童アンケート調査	12月		
算数	基礎・基本	算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明している。(50.0%)	5	67%以上	児童アンケート調査	12月		
	全国	今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題で、最後まで解答を書こうと努力した。(81.8%)	6	91%以上	児童アンケート調査	12月		
理科	基礎・基本	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている。(66.7%)	5	83%以上	児童アンケート調査	12月		